令和7年度　指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	総和地区スポーツ施設	**施設所管課**	スポーツ振興課
指定管理者名	古河市地域振興公社・日本スポーツ振興協会グループ	**指定期間（評価実施年）**	令和4年4月1日～令和9年3月 31 日 （指定期間　5年　のうち　4年目）
施設設置目的	市民の健康づくり、余暇・スポーツ・レクリエーションの場として、また、地域防災計画の災害時の避難場所として幅広い年齢層から利用されている本施設は、市民の憩いの場、家族のふれあい、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を目的とした施設です。		
主な実施事業	施設の維持・管理運営に関すること		

●実績報告

開館・開園日数	利用人数（人）	利用団体数（団体）	減免数（件）	指定管理料（円）	指定管理者の収支状況			備　考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
345	310,474	93,757	19,437	172,758,750	218,409,110	220,796,332	▲2,387,222	スポーツ交流センター温水プール休止に伴う指定管理料補填あり マイナス分は古河市地域振興公社自主財源にて補填

●管理運営状況

項目		評価基準（評価の観点）	評価内容 自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	共同体各団体の管理運営実績及び専門性を生かし、安定した施設管理運営を実施しました。 また、利用料収入の確保及び経費節減に継続して取り組み、収支改善を図りました。 今後も条例、協定書及び仕様書等を遵守し、安定的な管理運営に努めます。	A	収支報告や聞き取り等により、安定した運営が出来る財務状況が確認できました。 基本方針を理解し、真摯に事業に取り組まれていました。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	協定書に基づく利用時間及び開館日を遵守するとともに、施設情報について市広報紙、ホームページ及び館内掲示等により適切な周知を行いました。 また、予約システムを活用し、公平かつ円滑な受付対応に努めました。	A	受付業務や施設の利用方法など、すべての利用者が公平に利用できるよう工夫して臨機応変に対応されていました。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている	A	利用者アンケート及び窓口等を通じて利用者からの意見、要望及び苦情の把握に努めました。 また、必要に応じて警察及び関係機関と連携し、迅速な対応を行うとともに、内容を記録・共有し、運営改善に活用しました。	A	苦情やトラブル等は、法律や一般常識を鑑み、それぞれの立場を考慮し、利用者に冷静に説明して解決していました。 要望や意見についても、記録し、真摯に受け止めて対応されていました。
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている	A	個人情報保護マニュアル及び関連規程に基づき、適切な情報管理を実施しました。 また、情報公開規程に基づき、適正な運用に努めました。	A	各種マニュアルを遵守して運用されており、適切に管理されていました。
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	利用者の安全確保のため、日常点検及び専門業者による定期点検を実施しました。 また、緊急時対応マニュアル及び連絡体制の周知を徹底するとともに、AED 訓練及び年2回の避難誘導訓練を実施し、安全管理体制の強化を図りました。	A	日常的な点検から専門的な点検まで適切に実施されており、利用者が安全に施設を利用できることを優先に施設管理されていました。 また、消防法等に基づき避難訓練も適切に実施されていました。
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている	A	各種危機管理マニュアルに基づき、緊急時の対応体制を整備するとともに、連絡体制及び避難経路の周知を徹底し、迅速な対応が可能な体制維持に努めました。	A	緊急連絡体制表は更新されており、マニュアルはスタッフに周知されており、消防法上の避難経路も確保されていました。
	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である	A	施設管理運営に必要な資格（防火管理者、プール衛生管理者、普通救命講習修了者、	A	人員体制については、運営に必要な有資格者などを適正配置されていた。

3.管理運営体制		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している		公認上級スポーツ施設管理士等）及び専門知識を有する職員を適正に配置するとともに、労働関係法令等を遵守し、適切な職員体制の維持に努めました。		また、勤務時間・賃金・雇用等において、労働基準法関係法令を遵守されていました。
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている	A	共同体各団体において、各種研修を実施し職員の資質及びサービス水準の向上に努めました。 公社は古河市副市長による地域活性化研修を含め5種、JSPIは「マナー研修」「救急救命研修」等の研修を受講しました。	A	自主的な研修等および市主催の研修も受講し、職員の資質向上に向けて積極的な人材育成に取り組まれていました。
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	日常清掃、定期清掃及び保守点検を適切に実施し、施設の維持管理に努めました。 また、小規模修繕については職員による対応を行い、迅速な対応及び経費節減を図りました。 温水プールについては、各種基準に基づき安全衛生管理を実施しました。	A	維持管理については、施設および設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思われるが、利用者の安全確保を最優先に施設の安全管理に努められていました。 また、各種点検および施設の不備箇所についても市への報告が速やかに行われていました。
	業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している	A	専門性を要する業務については、原則として見積合わせを実施した上で業者を選定し、市の承認を得たうえで再委託を実施するとともに、業務内容及び成果の確認を行い、適正な履行管理に努めました。	A	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切であり、再委託業務の成果確認方法は報告書確認および現場確認により適切に行われていました。
4.施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している	A	代表団体にて作成した経営改革プランに基づく数値目標を踏まえ、ホームページ、SNS、市広報紙等を活用し、施設情報及び自主事業等の周知を実施しました。 また、ポスター及びチラシ配布等により利用促進に努めました。	A	情報発信については、スポーツ教室などの募集情報を様々な媒体を利用して効果的なPRに努められていました。
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる	A	利用者ニーズを踏まえ、自主事業内容の見直しを実施し、利用者拡大に努めました。 また、温水プールにおいては、継続事業としてキッズポイントカードキャンペーンを実施し、利用促進を図りました。	A	様々な自主事業を企画して施設の利用拡大に努め、利用者数の増加につなげられていました。
5.効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額（サービスとコストのバランス）は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている（過剰な剰余金はない） ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	利用料収入は前年度比で増加しました。 また修繕費については、利用に支障が生じないよう、施設機能維持及び利用環境向上に必要な修繕として、当初予算を超える 2,365 千円を執行しました。 経費節減については、節電・節水に加え、技能を有する職員による小規模修繕の内製化により、経費抑制と迅速な対応の両立を図りました。また、指定管理に係る会計については、団体会計と区分し適切に管理しました。	A	修繕、収支計画と結果、指定管理に係る会計管理、経費削減とも適切に管理されていました。

【評価基準】

SS	優良：仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの 【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良：仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの 【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通：仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分：仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備：仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	本年度の収支は2,387,222円の不足となりましたが、当初想定していた11,513,000円の不足額と比較すると、9,125,778円の改善となりました。主な要因としては、大相撲開催や利用者増による収入の増加、総和地区学校体育施設開放管理業務受託料からの充当、燃料費調整単価及び政府支援等による電気料金の低減、並びに経費節減への継続的な取組が挙げられます。 施設管理運営については、条例、協定書及び仕様書等を遵守し、安全・安心な利用環境の提供に努めました。また、温水プールにおいては、繁忙期である7月から8月の営業時間延長及び夏休み期間中の休館日を設けない運営を継続し、利用者の利便性向上を図りました。 今後の課題としては、予約システムの機能改善及び施設・設備の老朽化対応が継続的な課題となっております。特に温水プール施設改修、トレーニング機器修繕及び空調設備修繕等については、市担当課と連携しながら計画的に対応してまいります。 次年度においても共同体の専門性を生かし、安全・安心な施設運営を最優先とするとともに、利用者サービス向上、利用促進及び効率的な施設運営に継続して取り組みます。

所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	維持管理に関しては、施設および設備の老朽化等が目立つようになり、安全管理に苦慮されていると思いますが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努められていました。各種点検および施設の不具合箇所についても市への報告が速やかに行われており、指定管理者として可能な限りを尽くしていました。 収支については、温水プールは繁忙期に利用時間を延長し、自主事業のスポーツ教室を多数企画し、ネーブルパークで不要となった軽トラックを中央運動公園に移管し、効果的なPR活動、実施内容の充実化等、利用者の利便性および利用促進、事業計画を積極的に推進した指定管理者の継続的な努力が収支マイナスを最小限に抑えるという成果となりました。 全体的に、市と連携を図り、最善の策を講じながら管理運営されていました。令和8年度は指定管理者として最終5年目となりますが、スポーツの面から古河市を更に盛り上げてくれることを期待しています。